



Title	Gallia50号 あとがき・奥付
Author(s)	
Citation	Gallia. 2011, 50, p. 291
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21705
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

あ と が き

『ガリア』第50号記念号のあとがきを、私事から始めさせていただくことをお許しください。

昨年4月、大阪大学文学研究科に、フランス文学専門分野担当の准教授として着任しました。改装されたばかりで掃除の行き届いた個人研究室の机の上に、すでに必要なソフトがインストールされた新品のパソコンが置かれていました。壁面全体を占める本棚の大半は、18世紀以前の主要作家に関する重要文献や辞書類で埋め尽くされています。ここで仕事ができる幸福に陶然としました。

私は大阪大学で学んだことがありません。外部の目から見ると、「阪大仏文」は、優秀かつ個性的な研究者を続々と輩出し、学会内で独特の存在感をもって君臨する恐ろしげな集団でした。ましてやここは、創設以来パスカル研究の世界的な拠点のひとつであり、パスカリアンの端くれである私には、ひときわ輝きを放って見える研究室でした。

私がこの場にいられるのは、和田章男教授による法外な抜擢のおかげです。実際、お声がかかった当初は舞い上がるような心地がしましたが、就任が内定したころから、はたして自分につとまるのかという不安で夜も眠れなくなったものです。今でも授業中はいつも冷や汗をかいています。よく知っているつもりテキストを読んでいて、学生の発表から自分の誤解を思い知らされることもしばしばです。しかし、文学研究者にとってこれほど恵まれた職場はめったにありません。温かく迎えていただいたことに感謝しつつ、仏文研究室および本文学会のよりよき発展のために、ささやかながら全力を尽くす所存です。今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

さて、『ガリア』第50号は、記念号にふさわしい充実した内容となりました。ご寄稿くださった多数の会員のみなさまに感謝いたします。また、査読を担当してくださった先生方、膨大な編集作業を迅速かつ適確に遂行してくれた学生諸君にお礼を申し上げます。

そして、お気づきの通り、今号から表紙が一新されました。ご考察くださったのは、これまでと同じく辻村紀子さんです。古代ガリアの地図と、OとFを組み合わせたロゴマークにご注目ください。辻村さん、すてきなデザインをありがとうございました。
(山上 浩嗣)

GALLIA L

2011年3月1日印刷・3月3日発行

編集発行者 大阪大学フランス語フランス文学会

代表者 和田 章 男

〒560-8532 豊中市待兼山町1番5号

大阪大学文学研究科・文学部フランス文学研究室内

tel. & fax : 06-6850-5117

e-mail : contact@gallia.jp

URL : <http://www.gallia.jp/>